

住みなれた地域で 自分らしい暮らしを続けられるように

認知症初期集中支援チームがお手伝いします

「認知症初期集中支援チーム」は、認知症が疑われる人等の家庭を訪問し、初期の段階から本人の様子の確認や家族への助言など、さまざまな支援を集中的に行います。

～チーム員からの一言～

自宅を訪問し、本人や家族の困りごとを聞き、医師から専門的なアドバイスを行います。認知症になっても地域で安心して暮らせるお手伝いができるように頑張っていきます。



●支援の流れ

①相談 まずは、地域包括支援センターへ相談。

②家庭訪問 地域包括支援センターの職員が家庭を訪問し、初期集中支援の対象かどうかを確認します。

③認知症初期集中支援チームの支援開始

チーム員（香川井下病院の職員）が家庭を訪問し、本人や家族の生活の様子や困っていることを聞き、必要な支援やサービスにつなげていきます（6カ月を目安に支援）。

例えば・・・

- ・かかりつけ医への相談や必要に応じて専門医療機関への受診を促します。
- ・必要な医療や介護サービスの検討を行います。
- ・認知症の症状に応じた対応や、日常生活などについてアドバイスを行います。

④認知症初期集中支援チームの支援終了

その後は、ケアマネジャーなど関係機関へ引き継ぎをします。

Q どんな人が対象になるの？

A 40歳以上で、在宅で生活している認知症が疑われる人、または認知症の人で次のいずれかに該当する人
 ・認知症の診断を受けていない、または治療が中断している
 ・介護サービスを利用していない、または中断している
 ・医療や介護サービス等を利用しているが、認知症の症状が重く、対応に困っている など



認知症かな？

どう対応したら良い？

認知症は**早期発見・早期対応**が大切です。認知症が気になる人、認知症の家族のことで悩んでいる人は、地域包括支援センターにご相談ください。

さわやか教室

65歳からの介護予防教室のご案内

口には「食べる」「話す」など、私たちが元気で楽しい生活を送るための大切な働きがあります。

「口の健康」が改善することで、食欲が増し、体力もつきます。体力がつくと、外出の機会も増え、人と会い、話すことも増え、認知症を予防するなど良い影響があります。そこで「**健口づくり**」を実践するための健康教室を開催します。

時間 午前9時30分～午前11時（4回コース）

場所 大野原いきいきセンター2階調理室

対象者 チェックリストで「はい」が2つ以上の人

1	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	はい	いいえ
2	お茶や汁物等でむせることがありますか	はい	いいえ
3	口の渇きが気になりますか	はい	いいえ

人数 20人（先着順） 注意 事前申し込みが必要



教室内容

1 9月20日（水）

★歯科衛生士による
個別相談・指導等

2 10月25日（水）

★管理栄養士のお話
かむかむレシピ紹介
★歯科衛生士のお話

3 12月20日（水）

★歯科衛生士による
個別相談・指導等

4 1月24日（水）

★歯科衛生士から
「健口が続く秘訣！」
を学ぼう

申し込み・問い合わせ先 観音寺市地域包括支援センター（社会福祉センター内） ☎25-7791

7・8月は夏の青少年非行・ 被害防止県民運動期間

「みつめよう 正しい行動 自分の未来」

子どもたちが非行や被害に遭わず、未来を見つめ安全で安心して健やかに成長するよう、家庭や学校、地域がつながり見守りましょう。

近年、ICT（情報通信技術）の発達によるコミュニケーション手段の変化に伴い、人と人とのつながりが心も含めて薄く、見えにくくなっています。地域の中で集う子どもたちの姿を見かけることも少なくなっています。

いじめにおいても、ICTによる人の姿が見えないところで起きているため、気づいてもらえず、人に助けをもらうことができにくくなっています。

このような時代だからこそ、子どもたちが自分の気持ちを伝える（SOS）方法を見つけることや、子どもたちの気持ちを受け止め支援できる大人同士のさらなるつながりが大切です。

日常のあいさつや声かけを通して、困った時に支え合える、顔が見える人とのつながりを築きましょう。

夏休みには、家族そろって地域の行事に参加しましょう。

平成29年度青少年健全育成講演会

テーマ「SOS 伝える術と気づく術」

コミュニケーションの手段が変わった！人のつながりはどこに存在するのだろうか「困った」「助けて！」はどうやって伝えればいい？

子どもたちが自らの気持ちを伝えるための方法と、子どもたちの気持ちに気づき受け止め、支援できる関係や環境づくりについて一緒に考えましょう。

日時 7月27日（木）午後3時～

場所 市役所2階会議室

講師 観音寺第一高等学校教諭 岡田倫代先生

対象 家庭や学校、地域で子どもの健全育成に関わっている人

主催 青少年育成観音寺市民会議

SOS
ここにも
話しに来て
ください



問い合わせ先 少年育成センター ☎25-4251

はじめまして ふるさと学芸館です

「うわっ！ 暗っ！！！」

真っ暗な「あかり体験の部屋」で、**あんどん**や和ろうそくに明かりをともした時、子どもたちからの第一声です。思っていた以上の暗さに驚いたようです。「行灯」というと時代劇のシーンで見たという人も多いと思いますが、照明器具として一般的に普及してきたのは江戸時代だといわれています。燃料となる菜種の栽培が普及し、行灯用の灯油として広く使われるようになったことも広まった要因の一つのようです。

行灯の明るさは、近くで新聞がやっと読めるか読めないかぐらいですが、一般の暮らしにはまったく支障がなかったようです。江戸時代には、残業などはないし、読み物などは昼間のうちに読んでしまうなど、一日の活動を日の出から日没までとし、暗くなれば睡眠の時間となっていたからです。江戸の人たちには、家の中での照明はあまり必要なかったのかもしれません。



▲行灯

また、行灯の油には、猫に必要な脂肪分やビタミンが含まれていたため、猫たちは油をなめるようになりました。油をなめるために、行灯に近づき、後ろ足で立ちます。近づけば近づくほどに影は大きくなり、障子に映った大きな猫の影を見て、家の人はびっくり「ばけ猫だ～！」という話になったのだそうです。

当館の「あかり体験の部屋」で、和ろうそくや行灯、ランプ、裸電球、蛍光灯といった「やさしいあかり」を体感してみませんか。

問い合わせ先 ふるさと学芸館 ☎080-2974-4531



時 日時 所 場所 内 内容 対 対象
 数 募集人数 料 料金 受 受付期間 持 持参物
 申 申込 注 注意 問 問合先 主 主催

平成29年度がん検診

がん集団検診を次の日程で行います。年に1度は受けましょう。まだ申し込んでいない人は、お問い合わせください。

内 胃がん、乳がん、子宮頸がん、大腸がん

対 胃がん、乳がん、大腸がん・・40歳以上

子宮頸がん・・・20歳以上

注 胃がん、乳がん、子宮頸がん検診は、時間予約制です。必ず事前に申し込みが必要です。

乳がん、子宮頸がん検診は2年に1度の検診です。平成28年度に受けた人は受けられません。胃がん、乳がん、子宮頸がん検診と合わせて、大腸がん（集団）検診を申し込んでいる人は、検診時に検査キットを持参してください。

受付日時	検診の種類	場 所
7月10日(月)	8:30~11:00 胃がん	大野原 いきいき センター
	8:30~10:30 乳がん	
	13:30~15:00 子宮頸がん	
11日(火)	8:30~11:00 大腸がん	
	8:30~11:00 胃がん	
	8:30~10:30 12:30~14:30 乳がん	
12日(水)	13:30~15:00 子宮頸がん	
	8:30~11:00 大腸がん	
	8:30~11:00 胃がん	
13日(木)	8:30~10:30 12:30~14:30 乳がん	
	13:30~15:00 子宮頸がん	
	8:30~11:00 大腸がん	
14日(金)	8:30~11:00 胃がん	

問 健康増進課成人保健係 ☎23-3964

麻しん風しん(MR) 混合予防接種

麻しん（はしか）は感染力が大変強い感染症です。対象者には通知を送付していますので早めに接種しましょう。

平成29年度の対象者

市内に住民票があり、次に該当する人

1期 1歳以上2歳未満

2期 平成23年4月2日～

平成24年4月1日生まれ

問 健康増進課母子保健係 ☎23-3964

がん検診 無料クーポン券を送付しています

特定の年齢に達した人に子宮頸がん、乳がん、大腸がん検診の無料クーポン券（はがき）を送付しています。受診したことがない人も、がんの早期発見と健康意識の普及のため、この機会にぜひ受診してください。

対 市内に住所を有し、下表に該当する人
 クーポン券は、市が実施する検診に限り使用できます。（ただし国民健康保険加入者の一日人間ドックは除きます）

注 検診を希望する人で、申し込みをしていない人はお問い合わせください。

対象	生年月日
子宮頸がん	平成8年4月2日～平成9年4月1日
	昭和57年4月2日～昭和58年4月1日
乳がん、大腸がん	昭和52年4月2日～昭和53年4月1日

申 問 健康増進課成人保健係 ☎23-3964

高齢者肺炎球菌ワクチン 予防接種を受けましょう

高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種対象者には、4月に予診票を送付しています。体調を整えて早めに接種しましょう。ただし、過去に一度でも肺炎球菌ワクチンを接種したことがある人は対象外となります。

時 平成30年3月31日まで

対 接種日に60歳以上65歳未満の人で心臓、腎臓、呼吸器の機能またはヒト免疫不全ウイルスの機能障害で身体障害者手帳1級を持っている人と下表の生年月日の人

65歳	昭和27年4月2日生～昭和28年4月1日生
70歳	昭和22年4月2日生～昭和23年4月1日生
75歳	昭和17年4月2日生～昭和18年4月1日生
80歳	昭和12年4月2日生～昭和13年4月1日生
85歳	昭和7年4月2日生～昭和8年4月1日生
90歳	昭和2年4月2日生～昭和3年4月1日生
95歳	大正11年4月2日生～大正12年4月1日生
100歳	大正6年4月2日生～大正7年4月1日生

料 2,000円

ただし、市民税非課税世帯と生活保護世帯の人は、自己負担金が免除されます。必ず**接種前に**健康増進課または各支所で手続きをしてください。

持 予診票、印鑑、身分証明証（運転免許証または保険証）

問 健康増進課母子保健係 ☎23-3964

蚊に注意しましょう！ 蚊が媒介する病気があります

平成26年夏に、国内において69年ぶりに流行が確認されたデング熱や国内で昔から存在する日本脳炎も蚊が媒介する病気の一つです。

①蚊に刺されないようにする

野外活動時は長袖・長ズボンを着用し、肌の露出を避け、虫よけスプレー等を利用する。

②蚊の発生を防ぐ

蚊は水のあるところに卵を産むので、家の周りのバケツや空き缶、ビニールシートなど水の溜まりそうなものは片付け、植木鉢の受け皿は、定期的（週1回程度）に水を捨てる。

③心配なことがある場合は

海外旅行に行って、蚊に刺されて発熱した場合は、医療機関を受診し、医師に相談しましょう。国内でも、もしかしたら？と思ったら医療機関へ行きましょう。

問 健康増進課 ☎23-3964

香川県西讃保健福祉事務所保健対策課

☎25-2052

「パパママ教室」 ～参加者募集～

夫婦や家族で赤ちゃんを迎えるための準備をしませんか？おじいちゃんやおばあちゃんの参加も歓迎します。

時 8月6日(日) 午前9時～午前11時30分

(午前8時45分～受付)

所 保健センター

内 妊娠中の過ごし方やお産の経過、妊婦体験、赤ちゃんのお世話の仕方、お風呂実習

対 妊娠中の夫婦やその家族

数 20人（先着順）

受 7月10日(月)～8月3日(木)

持 母子健康手帳、フェイスタオル・バスタオル各1枚、ビニール袋、筆記用具、お茶

申 問 健康増進課母子保健係 ☎23-3964

電子メール kenkou@city.kanonjilg.jp

※メールでの申し込み

件名「パパママ教室」

本文「参加日、住所、夫婦の氏名、出産予定日、電話番号」

を明記してください。

(夫婦以外の参加希望者がいる場合は、申し込みの際にその旨をご連絡ください)



献血のお知らせ

時 7月26日(水)午前9時30分～午後4時

所 市役所1階エレベーターホール

主 観音寺ライオンズクラブ

安全な輸血のため400mL献血にご協力ください。

食品衛生教室のご案内

時 8月25日(金)午後1時～午後4時30分

所 香川県三豊合同庁舎

内 ハム製造工場見学（詫間町）

数 30人（先着順）

料 無料

申 問 電話またはFAXで申し込み

(公社)香川県食品衛生協会（西讃地区）

☎25-5116

FAX25-6432

三豊総合病院健康教室

●夜間糖尿病教室

時 7月13日(木)

午後6時～午後7時

内 糖尿病腎症について、血糖を上げにくい食べ方とは？(食事・間食・外食)

●食べて治して、ハッピーライフ

時 7月14日(金)午後2時～午後3時

内 あなたのお腹は大丈夫？知っておきたい胃腸の話、お腹の調子を整える食事の工夫

●腎臓病教室

時 7月20日(木)

午後3時30分～午後4時30分

内 腎臓病食・エネルギーの取り方について、運動療法の必要性について

●肝臓病教室

時 7月27日(木)午後2時～午後4時

内 B型・C型肝炎の最新治療、肝臓病の日常生活について、肝臓にやさしい筋力をつける運動

注 各教室とも予約が必要

申 問 同病院企業団健康管理センター

☎52-3366

みとよサプリ

時 7月19日(水)

午後1時30分～午後2時

内 がんと上手に付き合おう！

所 三豊総合病院南棟ホール

問 同病院 ☎52-3366